

# 資料 2

## 令和 6 年度 北谷町総合教育会議

### 議題「学校 I C T 機器等の購入計画について」

#### 1 めざす幼児・児童・生徒像

＜まちづくりの基本理念＞

「ニライの都市(まち)」

自然と人間が調和した、創造性豊かな活力ある民主的な地域社会

＜幼児児童生徒像＞

確かな学力を身に付け、豊かな心をもち、自ら学ぶ意欲に満ちた心身ともに健康な幼児児童生徒

#### 2 教室には多様な子ども達が集まっている。(小学校 35 人学級の場合) (全国値)

子どもの多様化が進んでおり、下記のように数字として表れる子ども以外にも、授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもはみんな違います。



#### 3 学習観の転換「個別最適な学び、協働的な学び及び ICT 活用」

教師による一方方向の一斉授業スタイルは、異なる一人ひとりに合う学びを届けることは限界がある。一人一台のパソコンをフル活用して、個々のスピードに合わせて、自分のペースで自分から学ぶ。そして沢山の人と対話して、助け合って共に学び合う。



#### 4 北谷町の課題

- ・教え込み、一斉授業からの脱却ができていない。
- ・学校間、学年間、教科間、教師間格差がある。
- ・個別最適な学び、協働的な学びの実現にとって ICT が必要不可欠の認識不足
- ・従来の紙ベースから ICT 活用に慣れてきたが、子どもたちに「自立した学習者」の育成するため、ICT 活用を含めた授業改善が喫緊の課題である。

**この授業を実現するためには、ICT 機器は必要不可**

#### 5 今後の学校 I C T 機器等の購入計画

##### (1) R7 電子黒板 (購入)

- ・H30 年度 127 台購入。
- ・耐用年数経過のため更新。154 台購入予定。
- ・アンドロイド搭載
- ・普通学級、特別支援教室、理科室、特別教室
- ・一括交付金予定
- ・総事業費 130,020,000 円 – 補助額 101,640,000 円 = 一般財源 28,380,000 円

##### (2) R7 ~R12 ネットワーク統合 (5 年リース)

- ・現状の校務内部系 PC と校務内部系 PC を文科省のガイドラインに沿って、ゼロトラスト (セキュリティ強化) を前提とした内部系 PC と外部系 PC を統合 (1 台化) する。
- ・内部系 PC、外部系 PC の使い分けの手間から解消され、校務の効率化を図ることにより、教育に時間をかけることができる。
- ・総事業費 67,441,000 円 年間 13,488,200 円

##### (3) R7~R8 次世代型校務支援システム

- ・各小中学校の既存システムが R7 年度 (R8.3 月末) でライセンス期間満了するため更

新が必要。

- ・県の校務支援システムの共同調達に参加し、R7 年度中に小中学校のシステム切替し、R8 年度からの本格運用を目指す。
- ・費用は、今後の共同調達の協議会で各自治体の費用を検討することになっている。

#### （4）R8 ネットワーク（アクセスポイント等）機器更新

- ・R2 年度に小中学校のアクセスポイントを整備しているが、耐用年数経過のため更新する必要がある。
- ・今後の GIGA スクール構想でのネットワーク環境にも耐えうる設備の強化を図る。
- ・一括交付金予定。
- ・総事業費 54,887,000 円 — 補助額 43,909,600 円 = 一般財源 10,977,400 円

#### （5）R8 GIGA 端末更新

- ・R2 年度に整備した学習用端末（ipad）の更新を行う。更新端末は chromebook とする。
- ・R7 年度に県の共同調達の協議会が開始する予定。そこで仕様書が決定する。
- ・GIGA 端末の共同調達では公立学校情報機器整備事業費補助金を活用することとなっている。補助対象額 1 台当たり 56,100 円。補助率は 2/3。

#### （6）R8 教授用 GIGA 端末購入

- ・学習用端末（生徒用）の更新に伴い、教諭にも chromebook に買換え予定。
- ・整備台数小中合計 230 台（小学校 130 台、中学校 100 台）（概算）
- ・教諭用に関しては、補助メニューがないため、一般財源予定。

#### （7）GIGA スクール時代の学校机・椅子の整備

教室机の天板寸法は 1999 年の新 JIS 規格の改正により、幅 60cm × 奥行き 40cm から、幅 65cm × 奥行き 45cm 以上に改善された。「GIGA スクール構想」による 1 人 1 台端末導入によって、児童生徒の机面積がさらに窮屈になってしまう問題が表面化している。今後、新しい授業スタイルに対応した教室机・椅子の整備が必要である。